



交付運用報告書

グローバル変動金利債券ファンド
円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース
＜愛称＞ ヘンリー

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2022年4月21日～2023年4月20日

第9期 決算日：2023年4月20日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、各国政府・企業等が発行する外貨建ての変動金利債券等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的とします。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第9期末 2023.4.20

円ヘッジありコース 円ヘッジなしコース

基準価額	10,232円	12,914円
純資産総額	2,901百万円	532百万円
騰落率*	△2.5%	5.1%
期中分配金合計	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

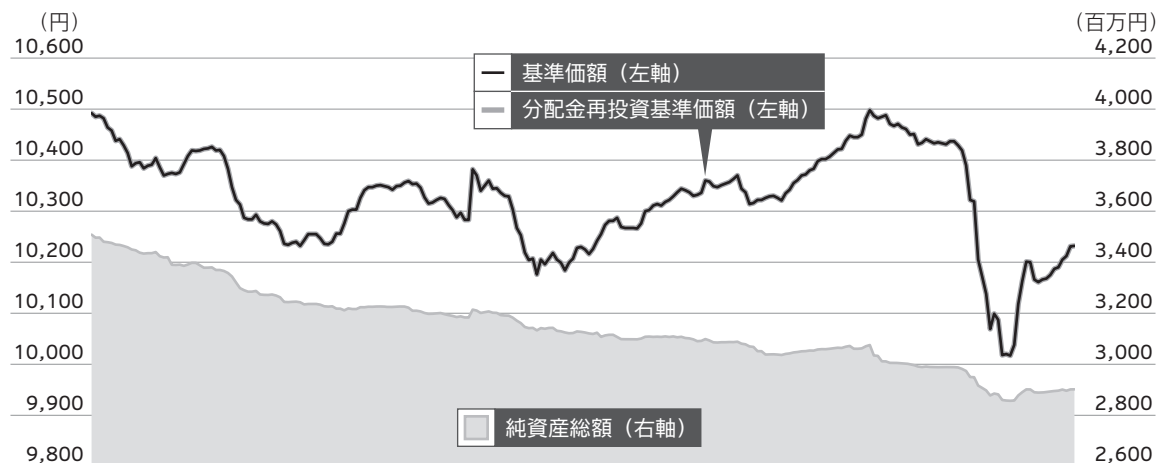


0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移

☎ 円ヘッジありコース



基準価額の推移

第8期末
2022.4.20

第9期末
2023.4.20

第9期首

騰落率

第9期末

基準価額
10,492円

△2.5%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
10,232円
(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、2022年4月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジありコース

高位に組入れていたマザーファンドは上昇しましたが、対円で為替ヘッジを行っていたため、為替の動きによる影響は限定的となり、基準価額は下落しました。

グローバル変動金利債券マザーファンド

期中の騰落率は+5.8%となりました。

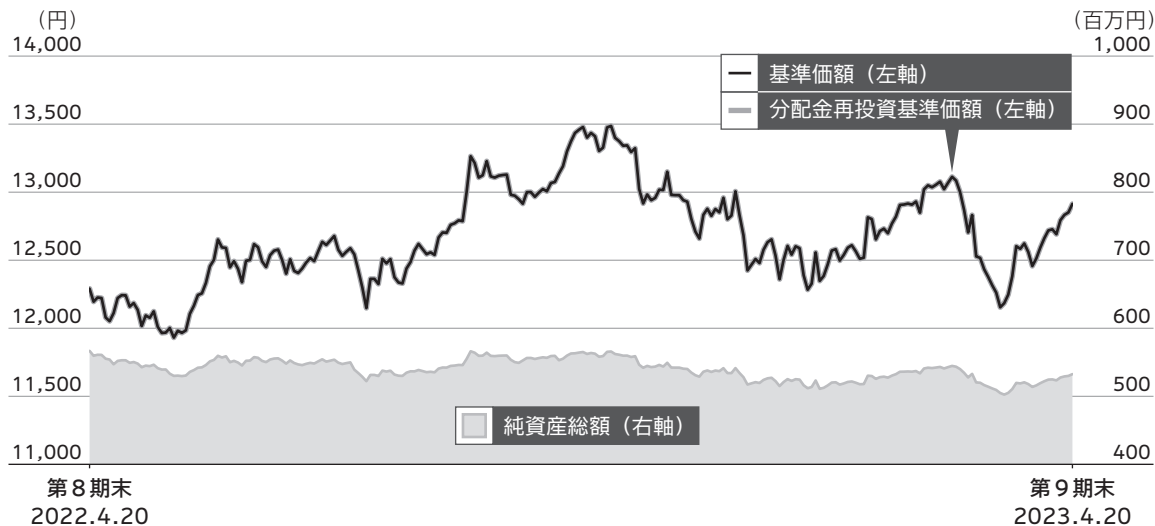
保有する債券のインカム（利子）要因がプラスに寄与しましたが、キャピタル（価格変動）要因はマイナスに寄与しました。一方で、為替において米ドル、ユーロが対円で大幅に上昇したことで全体がプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

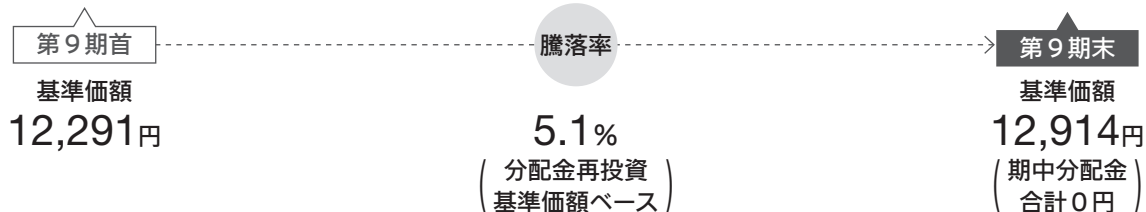
 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

円ヘッジなしコース



基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2022年4月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジなしコース

高位に組入れていたマザーファンドの上昇がプラスに寄与しました。

グローバル変動金利債券マザーファンド

期中の騰落率は+5.8%となりました。

保有する債券のインカム（利子）要因がプラスに寄与しましたが、キャピタル（価格変動）要因はマイナスに寄与しました。一方で、為替において米ドル、ユーロが対円で大幅に上昇したことで全体がプラスとなりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

円ヘッジありコース

項目	第9期 2022.4.21~2023.4.20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	58円	0.561%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,325円です。
(投信会社)	(36)	(0.352)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(17)	(0.165)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.042	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(3)	(0.024)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(2)	(0.015)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	62	0.603	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

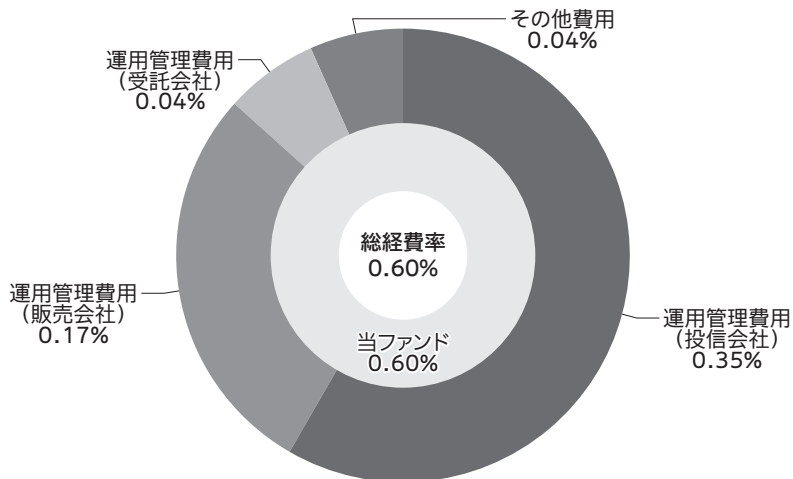
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.60%**です。



1
万
口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

円ヘッジなしコース

項目	第9期 2022.4.21~2023.4.20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	71円	0.561%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,677円です。
(投信会社)	(45)	(0.352)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(21)	(0.165)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(6)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	5	0.043	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(3)	(0.024)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(2)	(0.015)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	76	0.604	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

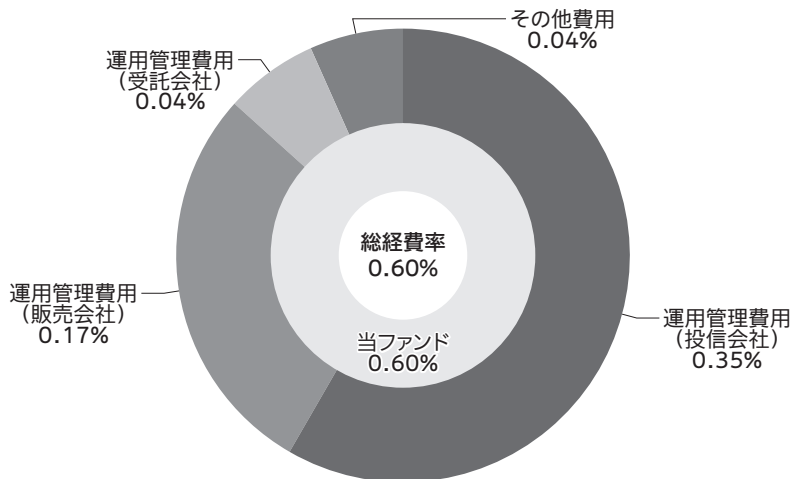
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.60%**です。



1
万
口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

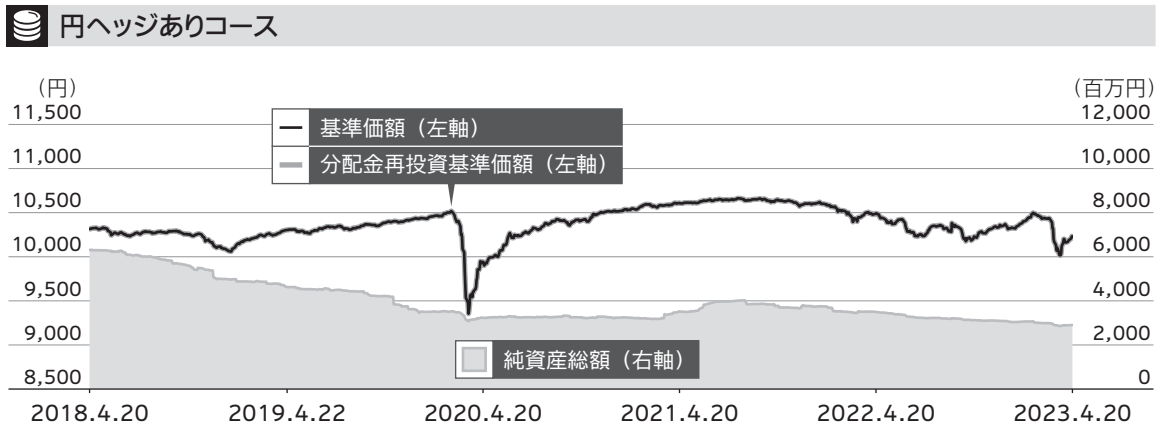
注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

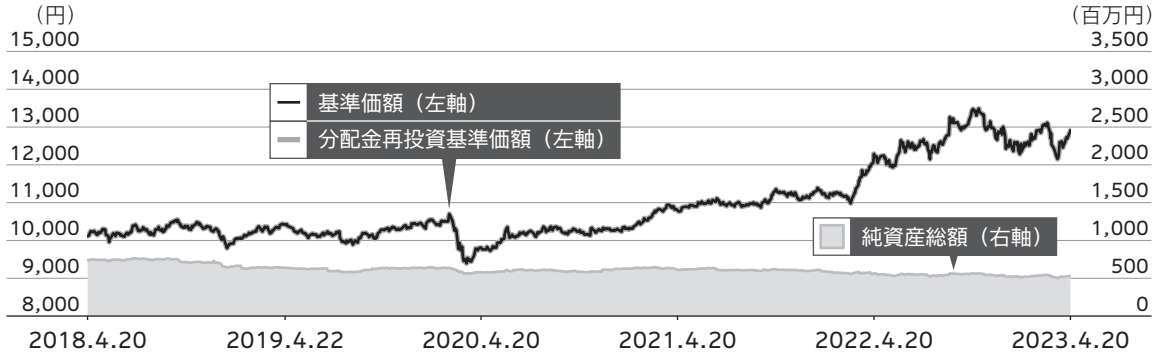
2018.4.20～2023.4.20



- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年4月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2018.4.20 決算日	2019.4.22 決算日	2020.4.20 決算日	2021.4.20 決算日	2022.4.20 決算日	2023.4.20 決算日
基準価額 (円)	10,315	10,304	9,943	10,610	10,492	10,232
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.1	△ 3.5	6.7	△ 1.1	△ 2.5
純資産総額 (百万円)	6,309	4,623	3,237	3,520	3,508	2,901

2018.4.20~2023.4.20

 円ヘッジなしコース


- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年4月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2018.4.20 決算日	2019.4.22 決算日	2020.4.20 決算日	2021.4.20 決算日	2022.4.20 決算日	2023.4.20 決算日
基準価額 (円)	10,115	10,423	9,812	10,799	12,291	12,914
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	3.0	△ 5.9	10.1	13.8	5.1
純資産総額 (百万円)	738	638	581	611	566	532

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

当期のグローバル変動金利債券市場は下落しました。期初から2022年10月にかけては、物価上昇の中、欧米諸国で積極的な利上げが行われたことや、英国の新政府による大幅な減税案の発表から財政悪化懸念が広がり、リスク回避姿勢が強まる中で下落しました。2023年2月にかけては、FRB（米連邦準備理事会）による利上げペースが和らぐとの見方が強まったことなどをを受けて株式市場でリスク選好姿勢が強まる中、上昇基調となりました。3月は、米国の中堅銀行の破綻や、スイスの金融大手の経営不安が波及しリスク回避姿勢が強まる中で大きく下落しました。期末にかけては、欧米の中央銀行が金融システム不安に対処する政策を打ち出したことから過度な金融システム不安が後退したことや、株式市場でリスク選好姿勢が強まる中で下落幅を一部戻す展開となりました。為替市場では、ユーロ、米ドルは対円で上昇し、英ポンドは期中に大きく下落する局面はありましたが、ほぼ横ばいとなりました。

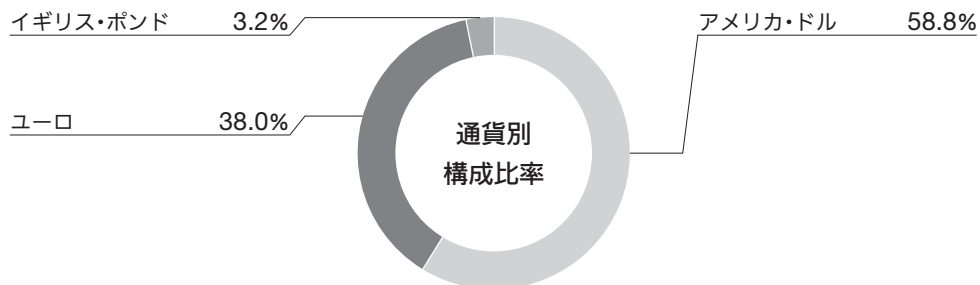
● 当該投資信託のポートフォリオ

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドの運用については、両コースともに、グローバル変動金利債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。円ヘッジありコースでは、対円で為替ヘッジを行っております。

📌 グローバル変動金利債券マザーファンド

先進国の優良企業が発行する変動金利債券を中心に、一部固定金利債券の組入れによるポートフォリオを維持しました。投資対象とする債券は、取得時においては発行体格付けが投資適格の債券で、通貨は米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建てのものとし、発行体の分散を図りました。ファンドの資金流入に対しては、その時点で投資魅力度の高い銘柄の組入れを図り、債券組入比率は高位を保ちました。ポートフォリオのデュレーションは1.5年未満とし、金利上昇リスクを抑制しました。



注1. 比率は、第9期末における組入債券評価額に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

📌 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

円ヘッジありコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第9期 2022.4.21~2023.4.20
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,866

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

円ヘッジなしコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第9期 2022.4.21~2023.4.20
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,160

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

円ヘッジありコース

グローバル変動金利債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。原則として対円で為替ヘッジを行います。



円ヘッジなしコース

グローバル変動金利債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。

グローバル変動金利債券マザーファンド

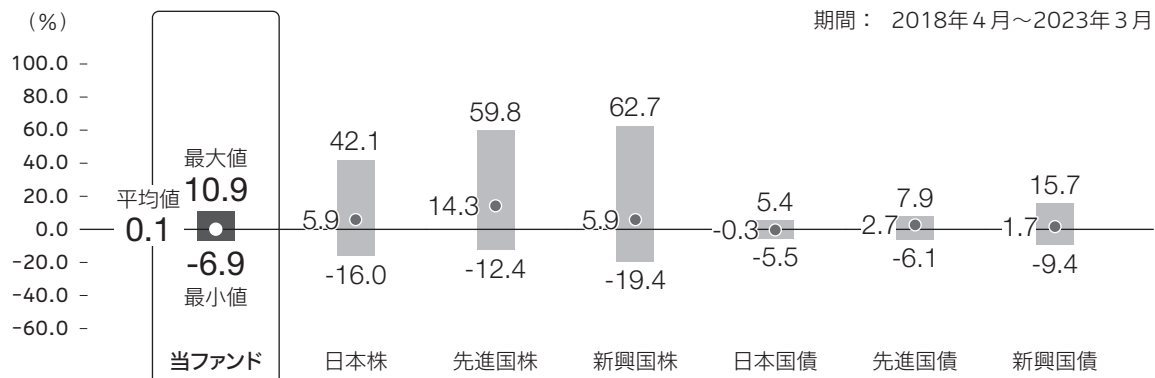
引き続き、綿密なクレジット分析による選別的な投資により、先進国の優良企業が発行する変動金利債券を中心に、一部、固定金利債券の組入れによるポートフォリオを維持していきます。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2014年4月30日から2024年4月19日まで
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	<p> グローバル変動金利債券ファンド 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース グローバル変動金利債券マザーファンド受益証券</p> <p> グローバル変動金利債券マザーファンド 各国政府・企業等が発行する外貨建ての変動金利債券等</p>
運用方法	<p>① 主として各国政府・企業等が発行する外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、スイスフラン建て）の変動金利債券等に分散投資を行います。マザーファンドにおける、債券の運用指図に関する権限を、ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエーに委託します。</p> <p>② 「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

☰ 円ヘッジありコース



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

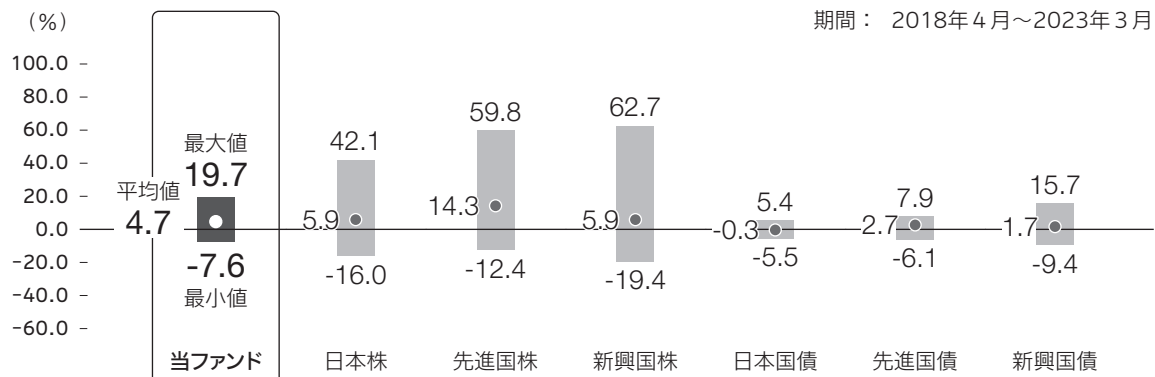
日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は23ページをご参照ください。

円ヘッジなしコース



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は23ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

円ヘッジありコース

● 当該投資信託の組入資産の内容

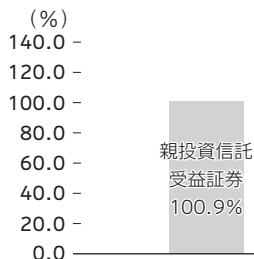
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

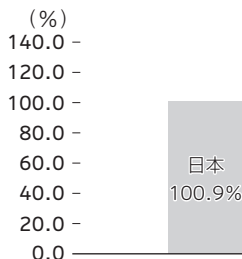
	第9期末 2023.4.20
グローバル変動金利債券マザーファンド	100.9%

注. 比率は第9期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

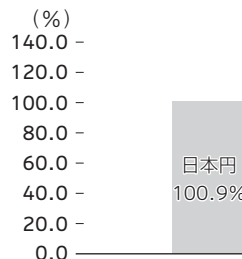
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第9期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第9期末 2023.4.20
純資産総額	2,901,760,756円
受益権総口数	2,835,958,178口
1万口当たり基準価額	10,232円

※ 当期中における追加設定元本額は8,587,155円、同解約元本額は516,134,373円です。

当該投資信託の組入資産の内容／純資産等

円ヘッジなしコース

● 当該投資信託の組入資産の内容

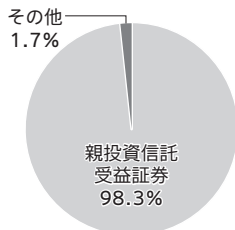
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第9期末 2023.4.20
グローバル変動金利債券マザーファンド	98.3%

注. 比率は第9期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第9期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第9期末 2023.4.20
純資産総額	532,542,199円
受益権総口数	412,374,104口
1万口当たり基準価額	12,914円

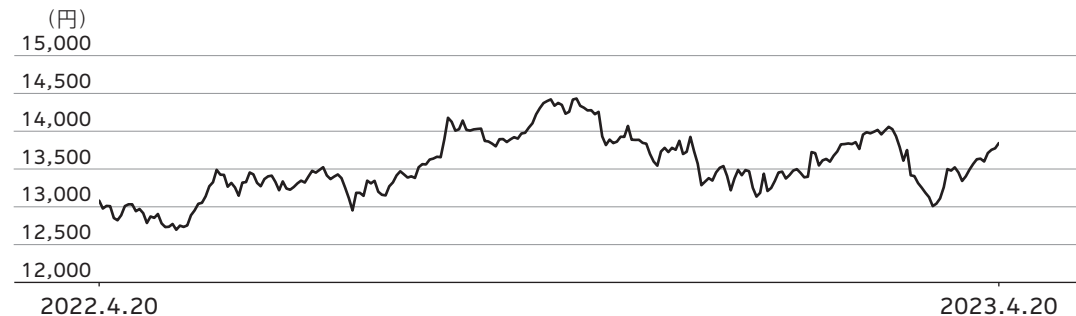
※ 当期中における追加設定元本額は8,479,413円、同解約元本額は57,206,569円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

グローバル変動金利債券マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

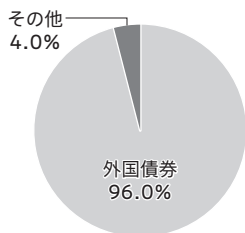
項目	2022.4.21～2023.4.20	
	金額	比率
その他費用	3円	0.025%
(保管費用)	(3)	(0.023)
(その他)	(0)	(0.002)
合計	3	0.025

期中の平均基準価額は13,544円です。

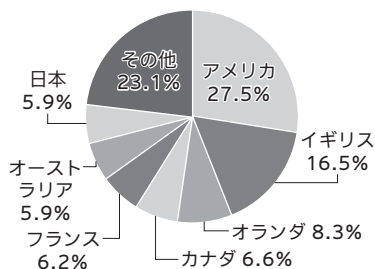
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 MS FRN 250218	社債券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.5%
2 TD BANK FRN 250120	社債券	ユーロ	カナダ	3.3%
3 CITIGROUP FRN 250701	社債券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.0%
4 WFC FRN 250425	社債券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.0%
5 JPM FRN 250224	社債券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.0%
6 BAC FRN 250922	社債券	ユーロ	アメリカ	2.9%
7 STANLN FRN 250330	社債券	アメリカ・ドル	イギリス	2.7%
8 SWEDA FRN 250404	社債券	アメリカ・ドル	スウェーデン	2.7%
9 NWG FRN 250322	社債券	アメリカ・ドル	イギリス	2.4%
10 MIZUHO FRN 250522	社債券	アメリカ・ドル	日本	2.4%
組入銘柄数		63銘柄		

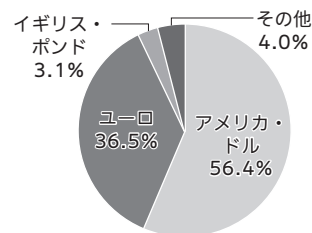
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2023年4月20日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

グローバル変動金利債券ファンド コース

検索

それぞれのコースをご入力下さい。

円ヘッジあり

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0960/price.html>

円ヘッジなし

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0961/price.html>

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

販

販売用資料

目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。